神戸市立糀台学校　学校評価報告書

学校づくりの目標	学校の教育目標の達成に向けて教職員が一丸となって、日々、組織的・計画的に展開する教育活動に、「人の心をひきつけるものがある」学校

内容		重点的な取組み	評点（４段階）	特記事項（学校自己評価）	関係者評価（学校自己評価に対する学校運営協議会の意見等）	学校自己評価、関係者評価を踏まえた次年度の重点的な取組みの案
育てたい子供の姿	一人一人を人間性豊かな子に育てる					
	思いやりのある明るい子	道徳や人権教育などを通して、自分や相手の気持ちを大切にできる心情を育む。	3	56年生対象のメディア学習会(学級世話係会主催)や34年生のインターネット安全教室で、スマホやインターネットの使い方や危険性を学んだ。相手をことを考えて情報発信する大切さを知る機会となった。		道徳や人権教育などを通して、自分や相手の気持ちを大切にできる心情を育む。
	心も体もたくましい子	運動会や音楽会などの行事、ボール体操などで、根気強く最後まで取り組める力を育む。	3	行事では、多くの子が大きな達成感を味わうことできた。また、ボール体操は、本校の特色ある取り組みとして継続していきたい。		運動会や音楽会などの行事、ボール体操などで、根気強く最後まで取り組める力を育む。
	進んで学び考える子	各教科・道徳・外国語活動などで、話を聞く力を重点的に高める。	2	ペアトークなど授業などで他の児童の意見を聞く活動を多く取り入れた。GIGA端末については、調べ学習やまとめる活動で活用したが、意見や考えを交流するツールとしての活用は不十分だった。		各教科・道徳・外国語活動などで、GIGA端末を活用して話を聞く力を重点的に高める。
	命を大切にする子	防災教育、保健指導、安全指導などを通して、自他ともに命を大切にする心情を育む。	3	1月に震災を振り返り、全校で防災学習に取り組んだ。震災を経験していない教員が増えいくので、継承が課題になってくる。		防災教育、保健指導、安全指導などを通して、自他ともに命を大切にする心情を育む。
全市的に推進すべきこと	①いじめ防止対策に関する取組み	授業をはじめ道徳教育や学級活動等すべての教育活動を通して、児童一人一人に「互いを思いやり、自分も他人も同じように尊重できる心」をはぐくむ。	3	全校で、神戸市いじめ未然防止プログラムの教材を活用して、いじめについて理解を深める学習を行った。また、6年生の代表者が櫨谷中学校区のいじめ防止小中会議に参加した。		神戸市いじめ未然防止プログラムの教材を活用して、いじめについて理解を深める学習を行い予防を図っていくとともに、いじめアンケートなどを通じて早期発見に努める。
	②不登校支援の取組み	外部講師を招いて、早期発見・予防的な手法を学び、学級経営に生かしていく。	2	現状、担任が中心になって支援を進めている。しかし、指導を継続していくために、不登校傾向であると認知した場合、複数の職員で対応にあたれるように体制を構築していく。		神戸市の施策である校内サポートルームの整備を進める。
	③教職員の業務改善	最終施錠時刻を、火曜日は１８時、それ以外は１９時に設定した。また、授業時数の適正化と合わせて、学期始めと終わりに5・6校時をカットした。	3	概ね設定した時刻通りに施錠できているが、業務量の見直しや効率化の方策を考える必要がある。学期始めと終わりは、時間的なゆとりが確保され、学期末事務に取り組むことができた。		授業時数の適正化と合わせて、学期始めと終わりに5・6校時をカットを行う。
	④「すぐ-る」の活用、ホームページにおける情報発信	これまでプリントでの回答を依頼していたものを、アンケート機能で行い、情報収集の効率化を図る。ホームページでは、更新の頻度をあげ、日々の教育活動様子を伝えていく。	2	ホームページの更新頻度が少なく、日々の教育活動を十分に伝えることができなかった。学校だよりなど、これまでプリントで配布していたものをすぐーるで配信を行った。プリント配布にかかる時間を削減でき、学習時間の確保ができ、業務改善につながった。	(すぐーるで地域に向けての情報発信は)学校の状況が分かりやすくありがたい。 保育園や幼稚園では、子供の日々の様子を知る機会が多く、その感覚のまま小学校にも求めている保護者もいる。	ホームページの更新頻度を増やし、子供たちの頑張っている姿、生活の様子や学校の取り組みについて、積極的に発信していく。
	⑤学校生活のルールや決まり（校則など）について	学校運営協議会などで、保護者や地域の方の意見を聴取し、より合理的なものに改善していく。	3	保護者アンケートで要望のあった「体育の授業時の長ズボンの着用について」の第3回の学校運営協議会で意見聴取を行った。	指定はお金がかかる。すぐに成長するので市販のものがよい。 上着も含めて、日焼け対策として通年着用可でもよいのではないかという意見が出た。	体育時の長袖・長ズボンの通年着用を可とする。 持ち物のきまりついては、児童(委員会活動)を中心にして見直しを図る。

【評点】４：十分達成できた　３：おおむね達成できた　２：どちらかと言えば課題がある　１：課題がある